

第7回スポーツファシリティーズ大賞（日本スポーツ施設協会会長賞）
受賞名：環境対応型ウレタン舗装材 「レオタンαエンボス SF」
受賞者：日本体育施設（株）

【開発経緯】

陸上競技場で使用されてきたウレタン舗装材は、膀胱がんとの関連性が明らかになっている特定化学物質 MOCA が含まれており、材料の製造工程や現場での施工段階で作業者が化学物質に暴露される危険性があった。厚生労働省から MOCA を取り扱う関係業者に対し、特定化学物質障害予防規則（特化則）に基づく暴露防止処置の通達を受け、「つくる人」の健康へ配慮するための舗装材の開発に取り組んだ。

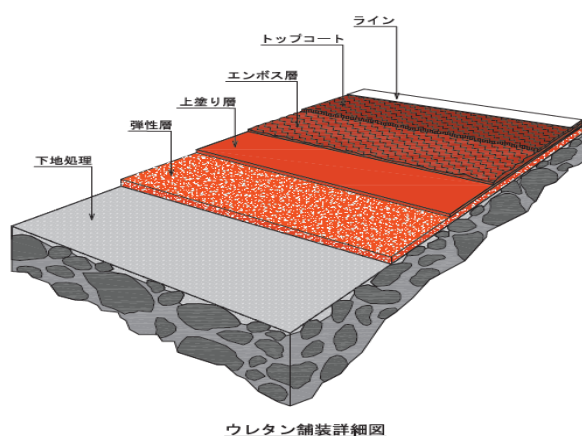
【受賞理由】

○安全性・利便性を重視し、特定化学物質 MOCA を含まない、かつ特化則に該当しない安全性と従来品同様の記録向上性、耐久性を両立させている。WA（世界陸連）舗装材認証に必要な性能規格値を満たし、耐久性は持続可能なスポーツ施設を目指し、同社従来品同様に 30 年近い長寿命を実現可能とした。

○実用化に先立ち、2020 年に WA トラック舗装材認証、2021 年に揮発性有機化合物とホルムアルデヒド自主規制表示登録を取得した。

【メディア等評価実績】

- ・ 北海道建設新聞、建通新聞、月刊体育施設などメディアに掲載
- ・ 令和 4 年度都市公園等コンクールの材料・工法・施設部門で（一社）日本公園緑地協会会長賞受賞



ウレタン舗装詳細図



エンボス層設置状況

レオタンαエンボス SF